

子ども劇場ニュースレター

No. 52

Society of Children's Theatre Works & Community Development

発行責任者 中島久美子

熊本市内 3 カ所で 人形劇団むすび座 「オズのまほうつかい」公演!!

おとなにとっても、魅力的な作品です！
ぜひみなさん、観に行かれてください!!

<やつしろ子ども劇場>

12月9日(金) 19時開演
桜十字やつしろ市民ホール

<熊本市子ども劇場>

12月12日(月) 19時開演
熊本県立劇場演劇ホール

<宇土の文化を考える市民の会>

12月18日(日) 14時開演
宇土市民会館

熊本市子ども劇場主催：人形劇団むすび座「オズのまほうつかい」事前活動

本作脚本：篠原久美子さん講演会「できないことからつながる道」

2022 年 10 月 12 日(水) 10:30~12:00 @熊本市男女共同参画センターはあもにい研修室 参加：39 名



～篠原久美子さん講演会のまとめ～

作品に込めた思いや魅力、イラクでの慈善活動のことなど内容は盛り沢山！歯に衣着せぬ語りぶりの篠原さんの講演会でした。私なりに 2 つの項目に絞ってまとめてみました。

<演出の関根信一さんとトコトン話して、作り上げた舞台構成>

- ・登壇者(カカシ・ブリキ・ライオン・ドロシー)すべてを子ども(小学5年生くらいをイメージ)に設定。
- ・下記の1、2の事にこだわって、観客に「あーそうなんだ」とうなずける構成になっている。

(=篠原さん曰く「そのための仕掛けを仕込んだ」)

- 1 登壇者全て(悪い魔女や、ドロシーの愛犬トトまでも)各々に存在価値がある事。
- 2 ドロシーが、(オズと違って)灰色の街と言われるカンザスに帰りたい理由。

<作品を通じて、制作者が子どもたちに込めた想い>

「みんな違って、みんないい」って言うけれど、やっぱり「みんなと同じようになりたい!」よね?!
自分には、いろいろ足りないところや悪いところもあるけれど、ひとりぼっちになりたくない。

「友だちと一緒に居たい。何かと一緒にがんばりたい!」など、子どもたちの“ゆめ”というより“ねがい”にも似た感情に、この作品を通じて寄り添えたら…。 (熊本市子ども劇場常山エリア 例会部：中野)

※篠原さんのお話は、会員限定(法人会員もOK)でアーカイブ視聴ができます。詳しくは事務局まで。

目次

1. オズのまほうつかい篠原久美子さん講演会
2. オズのまほうつかい事前活動(やつしろ)
3. PEACE コンサート
- 4~5. 地域公演(城南校区、うきっ子たのしい!!会)
6. 高学年キャンプ(親の会)あそびの会(城西エリア)
7. くまもと子どもわくわくアートフェスティバル
8. これからの予定

発行 特定非営利活動法人熊本市子ども劇場連絡会

〒860-0821

熊本市中央区本山1丁目6-9 白木ビル3階

TEL 096-356-0741 FAX 096-356-0780

e-mail info@kumageki.jp

<http://www.kumageki.jp>

(編集：東坂)

12月
鑑賞会

オズのまほうつかい事前活動
「新聞紙でかかしをつくろう！」
くまもと子ども劇場 & やつしろ子ども劇場

人形劇団
むすび座

人形劇団むすび座「オズのまほうつかい」の公演を楽しみに待つ取り組みのひとつとして、美術担当の宮武史郎さんを講師にお招きし、くまもと子ども劇場とやつしろ子ども劇場の2カ所で人形作りワークショップを開催しました。
くまもと子ども劇場 11/5（土）参加者 子ども23、大人21、合計44名
やつしろ子ども劇場 11/6（日）参加者 子ども5、大人7、合計12名
※写真はやつしろ子ども劇場の様子です。



やつしろ子ども劇場は50周年記念事業として、この「オズのまほうつかい」を開催します。12/9（金）19：00開演 @桜十字ホールやつしろ
令和2年豪雨災害文化支援として八竜小学校の子どもたち、保護者、先生方をご招待しています。たくさんの方にこの作品が届くことを願います。



<やつしろ子ども劇場 FB より>

「オズのまほうつかい」のお話を聞いた後、アラビアンナイトのハッサン君を実際に触ったり、3人がかりで動かし方を体験しました。

ぎこちない？動かし方に笑みがこぼれ拍手喝采でした！

かかし人形作りは、身近な新聞紙で、折り方、コツをゆっくりじっくり教わりながら、広告紙や白紙で、髪や洋服などアレンジして、それぞれ個性豊かに出来上がりました。

宮武さんが「新聞紙のかかし」を動かすと生きてるように滑らかに見え、人形役者さんはすごい！と感嘆しました。

12/9（金）「オズのまほうつかい」公演当日、今日のかかしたちも飾る予定です。

お家で作った人も持ってきてね。

とても公演が待ち遠しくなったワークショップでした。

SUMMER PEACE CONCERT

～石垣博志 チェロコンサート～ ピアノ 藤本史子

8月31日(水)@熊本県立劇場音楽リハーサル室

先の戦争から77年。平和を願いながら、チェロの音色とピアノの調べをゆっくり愉しむ機会をつくる事が出来ました。コンサートは、石垣さんの面白いトークと藤本さんのピアノの伴奏付き。

贅沢で、和やかな雰囲気になりました。



特に、平和を考えさせられる

鳥の歌 パブロ・カザルス

映画挿入曲 ひまわり

が演奏された時、胸にグッと込み上げてきました。

コロナ禍で気持ちが沈みがちな社会状況と、ウクライナが未だ、戦火に見舞われている状況のいちばんの被害者は子どもたちではないでしょうか。

本来ならば、自由にあそんだり、学んだり、未来を描いて夢をみられたはずの子どもたち。

私たち大人は先ず、平和がいちばん!戦争反対!と声をあげ続けなければ…と改めて思いました。

石垣さん、藤本さん、お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました♪



乳幼児の親子向け人形劇『ちいちにんにん』 ～人形劇団ののはな～



9月23日 秋分の日 午前中のひととき、たくさんの方にご参加いただき、無事終了しました。

会場の火の君文化ホールの舞台のスペースに、人形劇を演じるスペースと客席をセッティングして、間近で生の舞台公演を楽しみました。

始まりのあいさつは、かわいい小学生の女の子2人をお願いしました。ののはなさんから人形の動かし方などを教えてもらって、ステキなご挨拶をしてくれました。初めての鑑賞会に緊張していたかもしれない親子もほっこりした様子でした。

ちいちにんにんは、5つのお話で組み立てられています。0才から3才くらいの子どもの同じように感じるお話で、クスツと笑える作品ばかりで楽しかったです♪

<参加者の感想>

- ・とても楽しかったです。定期的にやってほしいです。(隈庄)4才2才
- ・よかったです。(隈庄)1才
- ・おもしろかった。カバ君と飼育員さんがいちばんおもしろかった。(秋津)7才2才
- (父)おじいちゃんがツボでした。どれもかわいくて、ほっこりとあたたかい時間でした。
- ・短いお話がいくつもあって、子どもも見やすかったと思いました。(画図)4才1才
- ・特に最後の「くねくね」は子どもも夢中になって見てました。大人も楽しかったです。
ありがとうございました。(豊田)2才
- ・とても楽しかったです。人形の動きやしゃべりがリアルで生きてるみたいでした。
「くねくね」もとても楽しめました。(松尾)1才
- ・長さも3才にちょうどよかったです。袋で作った人形、とってもかんたんで作ってみようと思います。
おもしろかったと言ってます。(松橋)3才
- ・開演直前に眠ってしまったけど、心地よい音と声だったんだと思います。
途中で起きてじーっとみてました。大人もたのしめました！！手作り人形もつくってみます。(川尻)
- ・色んなパターンの劇で面白かったです。(日吉東)
- ・2才の子も4才の子もとても楽しめたようで良かったです。2才4才
- ・とても楽しかったです！！子どもたちもよろこんでました。(城東)3才1才
- ・2才の息子と0才の娘と一緒に参加させていただきました。2才の息子は初めての場所、ものなどに警戒するのですが、ののはなさんの人形劇は、はじめからとても集中して見ていてびっくりしました。
かわいらしい人形と声に癒やされました。ありがとうございました。(向山)2才0才
- ・とても楽しかったです！！3才、2才の子も最後まで見られました。私自身も久しぶりの劇で楽しかったです。おなかの中の子もずーっと動いていました！！(砂取)3才2才
- ・(子)楽しかった。(母)初めて子どもたちに人形劇を観賞させました。思った以上に反応も良く、楽しんでいました。
私も一緒に楽しませていただきました。ありがとうございました。(西原)6才3才0才



うきっ子たのしい!!会主催 地域公演「秋の朗読会」

11/23(水.祝) @ウイングまつばせ

The ちゃぶ台 木内里美さん・ドルチェ杉本典代さん、友田哲郎さんをお迎えして朗読会を開きました。

○どんぐりと山猫～宮沢賢治作～

○ドングリ山のやまばあさん～富安陽子作～

○のはらうた～くどうなおことのはらのみんな作～

声色と楽器で話の世界に引き込まれました。



いつかうきっ子で!と思っていたのでこの日を迎えられて嬉しかったです。

もう一つ嬉しかったのは、今回は子どもたちが最初のチラシ作りから最後の会場片付けまで大活躍だったこと! 頼りになりました。



<子どもたちの感想>

○ドングリ山のやまばあさんが面白かった(理解できたそうです(((^_^)))

○楽器の音でドキッとしたりした

○お手伝いをたくさんできて良かった

<おとなたちの感想>

○色んなパターンの朗読で、また楽器の音で景色が想像出来て終始引き込まれ楽しませて貰いました。

子ども達がしっかり聞き入っていた姿や、のはらうたでも楽しく体で表現してた様子など感心しました。とても良い時間でした。

○じっくり聞かせる朗読、アクティブな朗読、いろいろな声色と楽器の音で話の世界に引き込まれました。今回は子どもたちが大活躍!成長を感じました。ありがとうございました。また楽しいことを計画たてましょうね。

城西エリア自主活動 「あ・そ・ぼ！」 年に3回ほど 不定期開催

もともとは 子ども市の準備のためのあそび会でしたが、コロナ自粛をきっかけに、あそぶためにだけの会を始めました。事前に決めておくことは、日時と場所。時間は30分程度。幼児・小学生・中学生と大人が近くの公園で集まります。平日の夕方などに、5～6人あつまったらいいやくらいのゆるさです。バラバラ集まりだし最初は気ままに木登りやサッカーごっこなど、人数がそろったらあそびがはじまります。そして当然ながら、本気の子どもに付き合う大人の体力もかなり試されています。おわりには子どもたちは「またねー」と声をかけ合うことが多いのですが、時には悔し涙で終わることもあります。気持ちの行き違いや言葉足らず、正直であるがゆえのトラブルもおこります。でも、やっぱりまたあそびたい。一人にいるより誰かといたい。そんな子どもたちの様子を眺めていると、群れてあそぶは本能なのだな、と気づかされます。先日、いもほり後にも30分だけあそびました。始まったもののグダグダで心配していましたが、最後の花いちもんめで大盛り上がり。なぜか子ども対おとなになり、子どもが勝ちました。その喜びたるや！大人と子どもとが入りまじり本気であそび合う姿はイキイキしていました。自分の気持ちを素直に出せること、やりたいことを言えたこと、意見を聞いてもらえたこと、親じゃない誰かと一緒に過ごせたこと。本気になる瞬間！楽しいだけで終わらないこともあります。が、全部オッケー！！まるごと受け取って、育ちの栄養になっていきます。毎日毎日こどもたちは成長を続けます。今を大切にしながら、形もお金にもならないけれど、共に過ごすあそびの中で、ずっしりと子どもたちの体の中に、確実に刻み込まれていくものがあるのだと感じています。子育てにおいて、大人の役割って何だろう？その問いかけを忘れずに、これからも活動を続けていけたらな、と思っています。



高学年キャンプ2022（親のまとめ会）

熊本市子ども劇場ではコロナ禍の中でもなんとか高学年キャンプを開催したい、と青年・高校生・高学年部・保護者が時間と手間をかけてつくり上げました。

<高学年キャンプ2022>

日時：2022年9月17～19日（2泊3日）⇒台風のため17日～18日（1泊2日）

場所：美里の森キャンプ場

企画していたプログラムのリベンジをあそびの会として10月23日に開催しました。中学生企画と青年企画。子どもたちの“やりたい”を叶えるために寄り添うことを大切にしている子ども劇場。いつの時代もそこは変わらずにあり、これからもそうあってほしいと思いました。

また、県内の子ども劇場で唯一取り組み続けている「高学年キャンプ」にかけた思いや今の子どもたちの様子をカウンセラー（青年・高校生）と参加した子ども（4年生以上）の保護者がまとめ会（下の写真）を開催しました。我が子の成長を集団・仲間と過ごすことを通して感じ、どれだけ貴重なことかをそれぞれの立場でゆっくり話せる場になったようです。せわしい毎日の中ではあっても、子どもの成長を客観的にみて感じるができる「高学年キャンプ」は劇場活動の集大成ですね。来年も大いに楽しんでほしいと思います。



くまもと子どもわくわくアートフェスティバル 2023



今年度も「生の舞台芸術のシャワーを浴びよう!!」と8月から準備にかかり、9月いっぱい上演作品の募集をしました。申込み総数 25 団体もあり、理事メンバーで選考をし、17 団体の上演を決定しました。選考の基準は主に昨年度のフェスティバルに参加していない団体、初めて出会う作品・団体。また、取り組む地域の子どもの劇場の要望としました。諸作業、絶賛準備中です。

オープニングは 2/11 (祝日) で大津町の町民交流施設ふれあいホールと熊本県立劇場大会議室の2カ所で開催。また、3/4 (土) 子どもの権利条約学習会もフェスの一環として取り組みます。(詳しくは裏面参照) 3/19 (日) は八代市・山鹿市・宇城市で、3/20 (月) 21 (祝日) は熊本県立劇場が会場となります。コロナ禍で窮屈な暮らしを強いられている、熊本県内のたくさんの親子に参加していただきたいと思います。

熊本県子ども劇場連絡会が主催として取り組む大きな事業です。皆さまのご支援やご協力なしでは成功いたしません。どうぞ、お知り合いの方にもお声かけいただきますようお願いします。

上演作品・日程・会場一覧(予定)

チラシは1月上旬に配布開始。チケットの申込みは1月中旬から。
参加費: 全て1作品ごとに大人1,000円・子ども(3才以上)500円

団体名	作品名	上演日	開演時間(予定)	会場名
JIMプロジェクト	小林陽一キッズジャズコンサート	2月11日	18:30	熊本県立劇場大会議室
劇団なんじゃもんじゃ	ハナさんのおきゃくさま		13:30	大津町町民交流施設ふれあいホール
人形劇団ひばりあむ	かえるくん・かえるくん	3月19日	11:10	宇城市不知火防災拠点センター
人形劇団京芸	へんてこげきじょう		11:00	八代市桜十字ホール多目的ホール
小心ズ	ミスしゃっくりの幸せな一日		14:00	八代市桜十字ホール多目的ホール
ラストラダカンパニー	サーカスの灯		14:00	山鹿市八千代座
山の音楽舎	いつでも どこでも ベイビーシアターinくまもと	3月20日	10:30~	熊本県立劇場和室
香味野菜	ゆらゆらブンポン南の島のものがたり		18:00	熊本県立劇場演劇リハーサル室
X-jam	しんぺいとちゃくらの「ワハハ・ドキドキ・オォー!		19:30	熊本県立劇場大会議室
CAN青芸	「ニコリのたね」	3月21日	10:30・13:00	熊本県立劇場演劇リハーサル室
想造舎	影絵音楽団くぶくぶ おひざにだっこ「がたんごんがたんごん」		10:00	熊本県立劇場大会議室
パントマイムプラネット	チカパンのパンバカパントマイム		11:00・13:00	熊本県立劇場和室
劇団おのまとべ	ツェねずみ		11:00・13:00	熊本県立劇場大会議室
蒼い企画	いつでもどこでもぴりとブッチー		14:30	熊本県立劇場演劇ホール
マーガレット一家	りさちゃんの自由な紙芝居		12:00	熊本県立劇場演劇ホールホワイエ
NODA倶楽部	野田さんお親子で楽しむ音楽保育室ハートフルタイム		11:15	熊本県立劇場演劇ホールホワイエ
人形劇団望ノ社	Shadow Kingdom影の王国		16:00	熊本県立劇場大会議室

～これからの活動の予定～

熊本市子ども劇場連絡会主催 子どもの権利条約学習会

※この学習会はくまもと子どもわくわくアートフェスティバル 2023 の一環として取り組みます。

「コロナ禍の子どもたち 生きる力を育てるには」(仮)

今年度の「子どもの権利条約」の学習会は講師に広木克行氏と元アフタフ・バーバン代表の北島尚志氏をお迎えして開催します。当日はお二人の対談のコーナーも設けて話を深めます。

広木先生は、不登校の子どもと、親の相談に長年にわたってかかわるとともに、各地で保育、教育の講演と子育て相談を続けていらっしゃいます。発達障害や登校拒否など、様々な問題を抱えた子どもたちやその親に優しく寄り添ってこられた先生のお話は、それぞれの心に熱く響きます。

北島さんからは最近の現場(あそびの場や講座など)の様子もうかがいたいと思います。

学習会開催日：2023年3月4日(土) 13:30～16:30(予定)

会場：熊本県立劇場 大会議室 参加費：1000円



講師プロフィール

広木克行：1945年、樺太生まれ、東京都立大学卒。東京大学大学院博士課程単位取得、教育行政学専攻。長崎総合科学大学教授、神戸大学教授を経て、大阪千代田短期大学学長、神戸大学名誉教授。不登校・登校拒否を考える親の会相談員。著書に「子どもは育ちなおしの名人」「ありのままがいいんだよ」「子どもが教えてくれたこと」など多数

主催・連絡先：特定非営利活動法人熊本県子ども劇場連絡会

860-0821 熊本市中央区本山1丁目6-9 白木ビル 3F

TEL:096-356-0741 FAX:096-356-0780 E-mail:info@kumageki.jp



メール QR コード

シン・マサフスキーの
#イベント・マジック

熊本市子ども劇場 (低高合同鑑賞会)

2023年2月24日(金)19時開演

@くまもと森都心プラザホール

やつしろ子ども劇場(マジックワークショップ)

2023年2月25日(土)10:30開始

@桜十字やつしろ 中会議室



編集後記
サッカーワールドカップ、日本が決勝トーナメントに進み、久しぶりの明るいニュースに私も心を躍らされました。(ワールドカップやオリンピックが経済至上主義の下に成り立つ事業と知りつつも)プレーしている選手の粘り強さには感動しました。
しかしながら主催地のカタールは宗教・文化による人権差別が多く残り、難しい問題とは言え、とても残念です。
私たち子ども劇場は子どもたちひとり一人の権利、存在を尊重しようという声を上げ、このことを社会にひろげるために、お芝居や人形劇など生の舞台やあそびを通して考える機会をつくっていきます。
熊本の子どもたちを勇気づけられるよう、スポーツに限らず文化芸術の力を信じて届けていきたいと思っています。
(事務局T)

賛助会員の皆さま

- ・熊本機能病院
- ・カリノホールディングス
- ・熊本なべしま
- ・長田進文堂
- ・家族葬のファミリー

ご支援ありがとうございます!!